



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社AVILEN 上場取引所 東
 コード番号 5591 URL <https://corp.avilen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 光太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 錦 拓男 TEL 03(5823)4694
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	651	—	110	—	100	—	71	—
2022年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	11.94	11.59
2022年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2022年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2023年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年9月27日付で東京証券取引所グロス市場に上場したため、新規上場日から2023年12月期第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 2023年7月20日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。当事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	557	372	66.6
2022年12月期	415	204	48.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 371百万円 2022年12月期 202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	968	32.2	236	114.6	211	91.8	147	86.7	24.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期3Q	6,050,000株	2022年12月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	一株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期3Q	6,000,916株	2022年12月期3Q	一株

- (注) 1. 当社は、2022年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の期中平均株式数を記載していません。
2. 当社は、2023年7月20日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「最新のテクノロジーを、多くの人へ」をビジョンに掲げ、上場企業を中心に累計650社以上の企業(2023年9月末時点)に対し、AI搭載のソフトウェア開発とビルドアップパッケージ(デジタル組織の構築支援)を主軸としたAIソリューションを提供し、企業のテクノロジー活用アビリティの向上からAIの導入まで、一気通貫でAIトランスフォーメーションを支援しております。

また、当社は、DX推進に既に着手をしているAI-Readyな企業だけでなく、これからDX推進に着手するAI-Ready以前の企業に対しても、ビルドアップコンテンツを提供することでデジタル組織・人材の開発を行い、実際のデータの利活用を見据えたデータ・プラットフォームの設計と実装、更にはAIソフトウェアの実装・活用を推進し、資本業務提携先とも連携しながら、データ×AIで豊かな未来を実現することを目指しております。

AI業界を取り巻く事業環境については、「ChatGPT」の普及と共に生成AIを始めとしたAI活用に対して各企業の注目度が一層高まっております。当社は、コアモジュールである「Instructea」と「ChatGPT」を組み合わせたSaaSプロダクトである「ChatMee」の販売を開始し生成AIビジネスへの展開も進めておりますが、生成AIを活用した変革支援が高く評価され、2023年10月に日本e-Learning大賞「生成AI特別部門」を受賞いたしました。

2023年6月に資本業務提携を締結した大塚商会等との連携も加速させながら、独自のビジネスモデルをベースに、引き続き顧客数の拡大と共に、「ChatGPTアイデアソン」といった新たなサービスの提供によりLTVの拡大にも注力してまいりました。

また、民間企業だけでなく、自治体においても生成AI等の実装に向けた議論は進んでおり、当社は、民間企業の支援で蓄積した知見をパッケージ化し自治体の支援へ展開していくために、京都市のさらなるDX推進を目的として、2023年11月に京都市と「DXの推進に向けた生成AIの活用等に関する連携協定」を締結します。

当第3四半期累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日まで)においては、AIソフトウェアユニット及びビルドアップユニットにおける顧客数・プロジェクト数は堅調に推移し、売上高は順調に推移いたしました。以上の結果、当第3四半期累計期間は、売上高651,906千円、営業利益110,268千円、経常利益100,752千円、四半期純利益71,644千円となりました。なお、当社はAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、当社の販売実績を主な内訳に区分した売上高は、AIソフトウェアユニットは331,731千円、ビルドアップユニットは320,175千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は472,387千円となり、前事業年度末に比べ115,165千円増加いたしました。これは、主に受注の増加に伴い、売掛金及び契約資産が98,656千円増加したことによるものであります。

固定資産は85,305千円となり、前事業年度末に比べ26,803千円増加いたしました。これは、主にソフトウェア開発の進捗に伴い、無形固定資産が30,162千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は557,692千円となり、前事業年度末に比べ141,968千円増加いたしました。

(負債)

流動負債は185,068千円となり、前事業年度末に比べ26,266千円減少いたしました。これは、主に未払消費税等及び未払法人税等が27,225千円減少したことによるものであります。

固定負債は該当ありません。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は185,068千円となり、前事業年度末に比べ26,266千円減少いたしました。

(純資産)

純資産は372,624千円となり、前事業年度末に比べ168,234千円増加いたしました。これは、主に上場に伴う新株発行により資本金が48,760千円、資本剰余金が48,760千円それぞれ増加したこと及び四半期純利益71,644千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年9月27日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	223,115	227,722
売掛金及び契約資産	115,950	214,606
預け金	4,882	1,373
その他	13,273	28,684
流動資産合計	357,222	472,387
固定資産		
有形固定資産	983	648
無形固定資産		
著作権	4,535	4,535
ソフトウェア	17,696	25,405
ソフトウェア仮勘定	4,382	26,835
無形固定資産合計	26,614	56,776
投資その他の資産	30,904	27,880
固定資産合計	58,502	85,305
資産合計	415,724	557,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,775	14,746
未払金	26,165	22,168
未払費用	32,940	40,054
契約負債	75,086	72,533
未払消費税等	26,676	14,868
未払法人税等	26,926	11,509
賞与引当金	3,652	—
その他	11,110	9,187
流動負債合計	211,334	185,068
負債合計	211,334	185,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	51,760
資本剰余金	—	48,760
利益剰余金	199,064	270,709
株主資本合計	202,064	371,229
新株予約権	2,325	1,395
純資産合計	204,389	372,624
負債純資産合計	415,724	557,692

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	651,906
売上原価	198,587
売上総利益	453,318
販売費及び一般管理費	343,049
営業利益	110,268
営業外収益	
受取利息	1
為替差益	42
その他	663
営業外収益合計	708
営業外費用	
上場関連費用	9,545
株式交付費	678
営業外費用合計	10,224
経常利益	100,752
特別利益	
新株予約権戻入益	930
特別利益合計	930
税引前四半期純利益	101,682
法人税等	30,037
四半期純利益	71,644

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は2023年9月27日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年9月26日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式50,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ48,760千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が51,760千円、資本剰余金が48,760千円となっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。